

## ◇現代社会と青年◇

## 三十年間の若者の動態は

（株式会社キャリアコンサルティング  
代表取締役社長）

むろだて いさお  
室 勲

私は現在、二十代を中心とした若手社会人と学生、合わせて常時千五百名の方々にリーダーシップの基礎力を指導しております。就活支援事業における、大学生の無料サポートには年間五千人が登録。これは日本の大学を卒業して就職をした学生の百人に一人にあたる数字です。私が若者に対するリーダーシップの基礎教育を始めて約三十年。直接指導してきた若者だけでも累計約二十万人に達します。その中で日々、感じていることをお伝えし、少しでも読者の皆様のご参考になれば幸いです。私の周りの経営者や管理職の方々から「最近の若者はどうなのか」という質問をよくされます。実際に若者の扱いに戸惑っている方も多くいらっしゃるからだと思います。私が指導してきた若者は本当に様々です。学歴で言えば、中卒から大学院の博士課程卒まで十人十色。一括りに語ることは難しいのが本音です。ただ、三十年前の若者と、現代の若者。学ぶ意欲や伸びしろ、社会人としての可能性などに關して大差はありません。やる人はやるし、やらない人は何を言っても腰が重い。そ

の割合はほとんど変わりません。「夢はあるか」との問いかけに対し、具体的な夢を答える若者は5%、そうじゃない若者は九五%。この割合も三十年前から変わりません。多くの若者には、具体的な夢がないのです。

ただ、夢はなくとも欲求はあります。三十年前は外車、ブランド品、時計、海外旅行、一戸建てなどをよく聞きました。現代は貯金、親孝行、奨学金の返済などを聞きます。一方で、共通する欲求もあります。「お金がほしい」「仕事がでさるようになって、出世したい」「異性からモテたい」というのは今も昔も共通する欲求です。「最近の若者は欲求が薄くなった」とよく耳にしますが、そんなことはありません。三十年経っても若者の欲求の根本は同じなのです。

若者と接する上で注意しなければならないのは「人は少しの違和感で心を閉ざしてしまったり、離れてしまったりするものだ」ということです。若者の注目ワードは「健康」「仕事観」「コスパ」「スマホ」「ゲーム」「異性」「約束」「正解は?」「LINE」「ブラック」「怪しい」「仲間」などがあります。

注目ワードの定義も含め、若者の価値観を、本連載を通してお伝えしていきたいと思えます。

現代社会における若者の動向は日本の未来を構築するものです。その若者と未来を共にすることは重要なことと捉え、取り組んで参ります。